令和6年度 公の施設目標管理型評価書【市民芸術文化会館】

施設名	新潟市民芸術文化会館				
管理者名	(公財)新潟市芸術文化振興財団	指定期間	令和6年4月1日	～	令和11年3月31日
担当課	新潟市文化スポーツ部文化政策課				
所在地	中央区一番堀通町3番地2				
根拠法令	—				
設置条例	新潟市民芸術文化会館条例				
施設概要	設置：平成10年10月 施設規模：鉄骨鉄筋コンクリート造、延床面積25,099.9㎡ 施設内容：コンサートホール(1,994人)、劇場(898人)、能楽堂(382人)、 スタジオ(2室)、練習室(8室)、ギャラリー、展望ロビー、新津記念室 料金区分：午前、午後、夜間、全日の区分で場所ごとに料金を設定している。				

施設設置目的
音楽、演劇、能その他の舞台芸術の振興を図り、もって市民文化の向上に資する。
管理・運営に関する基本理念、方針等
1 理念 芸術・芸能文化の継承・発展・創造・社会貢献 2 期待される機能 【本質的な機能】 ・舞台芸術の振興 ・芸術文化活動の普及振興 【発展的機能】 ・都市の魅力の向上 ・良好な都市イメージを発信することによる、交流人口の拡大、経済波及効果の増大など 3 基本方針 ① 地域に根ざした文化の創造 ② 地域特性を踏まえ文化で人と人をつなぐ ③ 文化を支える人材の育成 ④ 質の高い専門性に富んだ芸術を鑑賞する機会の提供 ⑤ 社会的役割を果たす基盤の整備・強化

令和6年度

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価※	評価コメント※
市 民	年間稼働率	コンサートホール稼働率 86.0%以上	92.3%	A	評価指標を大きく上回っており、評価する。
		劇場稼働率 78.5%以上	80.1%	B	
		能楽堂稼働率 34.7%以上	39.3%	A	
	年間利用者数	年間利用者数 245,316人以上	291,975人	A	指標値を約46,000人上回っており、評価する。
	文化事業年間鑑賞者数	自主文化事業の年間鑑賞者数が、85,000人以上	90,578人	B	
	利用者満足度	貸館利用者(主催者)の満足度調査で、「たいへん満足」「まあ満足」が90%以上	99.6%	A	非常に高い満足度で評価できる。
		文化事業公演等の鑑賞者の満足度調査で「たいへん満足」「まあ満足」が90%以上	98.7%	A	
貸館利用者(主催者、公演鑑賞者等)に対するサービスの提供及びホスピタリティ等に関する取り組み	専門性の高い職員による安全で高度なサービスを提供し、アンケート等に基づいた細やかなサービス提供やレセプションの配置等により館内ホスピタリティ等を充実させる	貸館担当者、舞台技術担当者、レセプションが連携してサービス業務を実施し、館内ホスピタリティ等を充実させている。	B		
	意見箱、アンケート、インタビューを組み合わせた利用者の意見聴取を実施する	主催者にはアンケートとインタビューを実施し、公演鑑賞者等からは意見箱に投書が寄せられており、利用者の意見聴取を実施し、施設運営に取り入れている。	B		

市民	広報の充実	複数の媒体を組み合わせ、公演や催し物情報等の効果的な広報を行う (①ホームページ、②SNS、③テレビ、④デジタルサイネージ、⑤インターネット広告、⑥機関紙等)	①～⑥すべて取組あり。加えて、館独自制作動画「リゅーとびあスタンディングオベーション(公演紹介動画)」を制作し動画共有サイトで情報発信している。	A	様々な広報媒体を活用し、積極的に広報していることを評価する。
	苦情・要望に対する対応	回答が必要な場合、2週間以内に連絡を入れる(回答が遅れる旨の連絡でも可)	苦情・要望には2週間以内に対応するなど適切に対応している。	B	
	ワークショップ回数・アウトリーチ回数	ワークショップ回数・アウトリーチ回数が年間100以上	105回	B	
	文化事業への地元アーティストの活用	新潟市近郊出身又は在住等アーティストを活用する事業を実施	専属舞踊団Noism Company Niigataのメンバーや専属オルガニストは市内在住である他、ジュニア音楽3教室の指導者の多くがOBOGであるなど地元アーティストを活用している。	B	
	地域社会などとの連携(社会包摂の取組みを含む)	教育・医療・福祉等の地域団体や多様な主体との連携機会が年間4件以上	12件	A	音楽、演劇、能楽、舞踊それぞれで事業を実施するなど分野を問わず連携や機会の提供をしていることを高く評価する。
	子どもが文化芸術に触れる機会の提供	子ども向け文化事業を年間2件以上実施	子供向け音楽事業、子供劇団、能楽体験事業、ダンスWSなどを10件以上実施している。	A	同上
財務	市の歳入の増加	使用料収入 73,248千円以上	68,137,507円	C	より一層の改善に励まれ、指標の達成を望む。
	文化事業 自主財源比率	自主財源比率 67%以上	63.9%	C	同上
	第三者からの高い評価による市民の文化的環境の充実	国等からの財政的支援の獲得	文化庁(芸文振)劇場・音楽堂等総合支援事業(全国トップ15館)に選定され高額の財政支援を獲得	A	国内トップクラスの評価を得ていることを高く評価する。
業務	日常連絡の適切さ	月次報告書を翌月10日までに提出	毎月10日までに提出している。	B	
	事業計画・事業報告の適切さ	事業報告書を翌年度4月30日までに提出	4月30日までに提出	B	
	運営方針、事業目標	下記の取組をしているか。 ・設置目的、基本的使命等を踏まえた運営方針がある ・運営方針をホームページ等で市民に公開している ・運営方針に基づく事業目標に関する自己評価を行っている	3指標すべてにおいて取組みを行っている。 なお、運営方針は文化庁(芸文振)から高い評価を受け、劇場・音楽堂等総合支援事業(全国トップ15館)に選定されている	A	3指標すべてにおいて取組みを行っている。全国的に高い評価を受けており、評価できる。
	運営方針を実現するための経営戦略の有無	下記の取組をしているか。 ・内部で定期的に各事業を検証する会議を実施している ・所有者である市と定期的に共有・意見交換の機会を設けている ・業務改善、経営の効率化に取り組んでいる	3指標すべてにおいて取組みを行っている	B	
	安全安心の確保	非常連絡網の作成等による危機管理体制の整備	指標に加えて、 ・防災ミーティングの実施 ・非常時活動カードの見直しを実施した	A	連絡網を整備のうえ、各種訓練を積極的に行っていることを評価する。
	当該施設の管理に係る関係法令の遵守	コンプライアンス及びハラスメント対策の実施	コンプライアンス ・全職員対象に研修実施 ハラスメント ・ハラスメント防止の方針及び相談員について全職員へ周知 ・全職員へ動画研修実施 ・啓発ポスター職場内掲示	B	
	守秘義務違反に該当する問題がないこと	守秘義務違反なし	B		

人 材	専門性の高い人材の配置	施設設備管理運営上必要な専門的知識、技能、経験、資格等を備えた人材を配置しているか(建築物環境衛生管理技術者、防火管理者、第三種電気主任技術者、2級ボイラー取扱作業主任者、危険物取扱者乙種4類等)	指標に加え ・一級建築士 ・消防設備士の免許を必要とする業務を実施	A	積極的に専門性を活かした人材活用を行っている点が評価できる。
	職員の育成	館内研修を年2回以上実施 館外の研究会や研修会などに参加	2回 館外の研修会等へ積極的に職員を参加させ、職員の育成を図った。(社会貢献教育ファシリテーター基礎研修、フルハーネス研修など)	B A	 オンラインも活用し、館外研修を積極的に受講するなど職員のスキルアップを図っており、評価する。
	労働基準の充足	労働基準違反に該当する問題がないこと	36協定違反なし	B	

【評価基準】

- A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている(複数の指標の場合、全てを達成し、かつその達成度・内容が優れている)
 B: 要求水準(評価指標)が達成されている(複数の指標の場合、全てが達成されている)
 C: 要求水準(評価指標)が達成されていない(複数の指標の場合、全ては達成されていない)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

- ・R6年度は、R5年5月に政府による新型コロナウイルス感染症5類移行後1年が経過したこともあり、市民(来場者)マインドが回復したことを受けて「施設利用者数」「施設稼働率」等の目標を達成することができた。しかしながら「施設使用料収入」は利用1件当たりの単価が下がったことで目標を下回った。
- ・コロナ禍前には、高いレベルで目標を達成していた自主文化事業の「年間入場者・参加者数」は、コロナ禍中～R5年度迄目標を達成することができていなかったが、市民(来場者)マインドの回復もありR6年度は再び高いレベルで目標を達成することができた。また「ワークショップ・アウトリーチ回数」は、R5年度に引き続き積極的に館外に出向くなどし、目標を達成することができた。
- ・R5年度に引き続き、「貸館利用者(主催者)の満足度」「自主文化事業公演等の鑑賞者の満足度」は、いずれも高いレベルで目標を達成することができた。
- ・R6年度は「施設使用料収入」のみ目標を達成できなかった(C評価)ため、R7年度は目標を達成できるよう取り組みを強化したい。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

「年間稼働率」「年間利用者数」について指標を大きく上回っており、高く評価する。また、「利用者満足度」においてもほぼすべての利用者がアンケートにて「満足」「ほぼ満足」と回答するなど満足度が高く、良好な施設運営及び質の高い自主文化事業の実施に努めたことを評価する。
 一方で、稼働率や利用者数が増加するなかで「使用料収入」は指標を下回っており、使用料収入が減少している原因を分析するなどより一層の改善に励まれ、指標の達成を望む。
 今後の施設運営にあたっては、貸館や公演のほか、ワークショップやアウトリーチをはじめ幅広い世代へ文化芸術に触れる機会を提供するなどこれまでの取り組みを継続することで、質の高い芸術文化事業を提供し、市民の文化芸術活動の振興に貢献していただきたい。